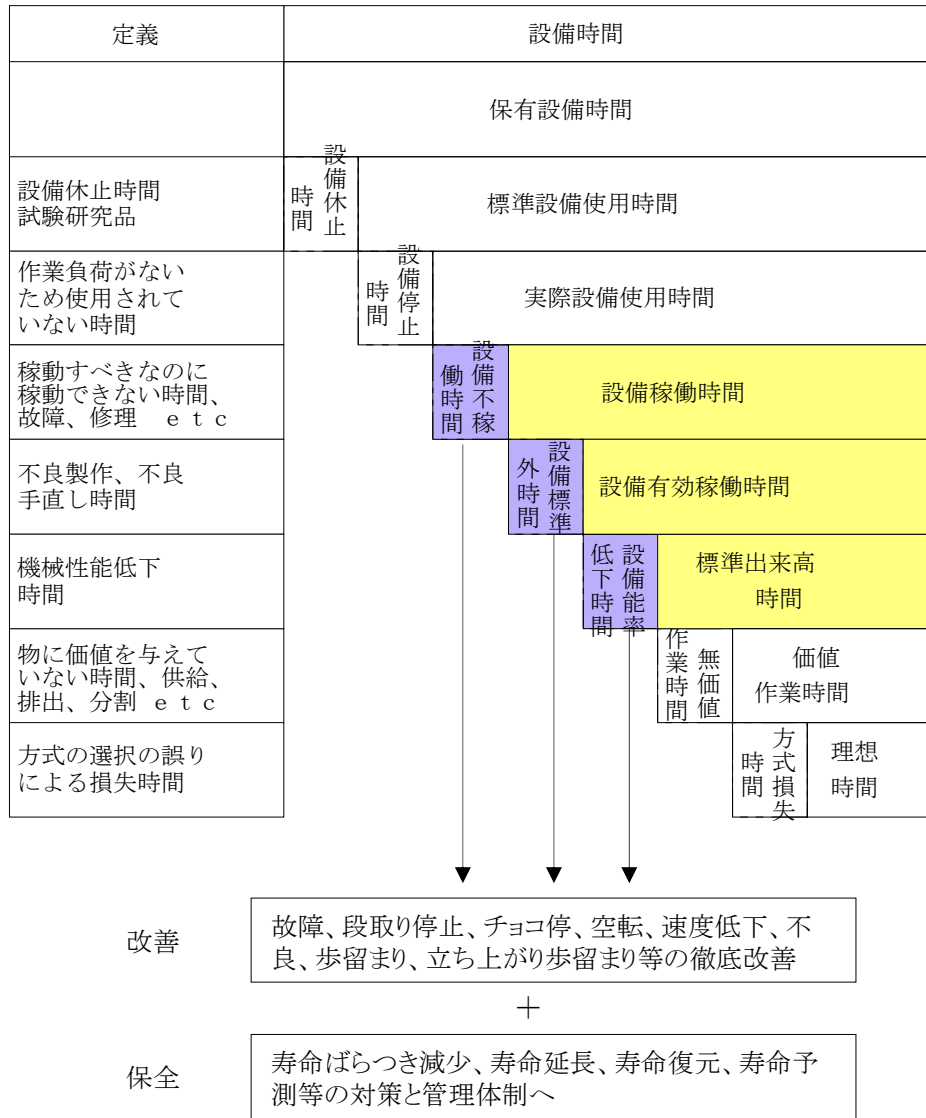
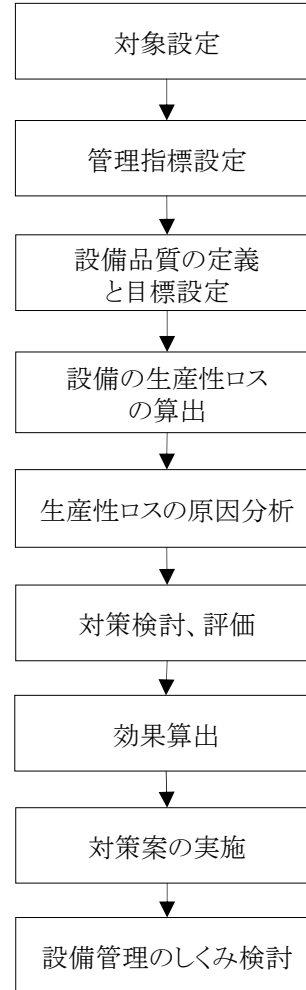


生産性と設備品質視点



展開ステップ



9.3 設備品質能力向上

設備は製品を製造する上で最も重要な要素で、常に良品を効率よく製造できるように維持しておく必要があります。そこでTPMで代表される設備保全を徹底する必要があります。TPM等の活動で、常に設備を監視しておき、問題が起きそうな場合には、必要な処置をすべきです。

また運転中に発生する故障や不良は生産性の管理とあわせて管理し、故障等に伴うロスを生産性管理並びに原価換算することで必要な投資採算を見ながら手を打っていくことが良いでしょう。

図は設備生産性の概念を示し、設備不稼働時間、設備標準外時間、設備能力低下時間が設備の能力低下に伴うロス時間になります。これらを常に少ない時間に来るように対策すべきです。

また設備の寿命延長、ばらつき防止等を継続できるように管理体制を構築して実施するのがよいでしょう。